



退任のご挨拶 — 清水新二前理事長

この度、6年間務めてきた Sotto 理事長を一身上の都合で退任することになりました。長いようで短くもあったこの間に、Sotto は着実に一步一步その地歩を固めてきました。その中でも私が一番の成果と考えているのは、立ち上げ期当初は宗教的な下支えによってスタートした京都自死・自殺相談センターが民間非営利団体となり、さらに特定非営利活動法人へと展開してきたことです。しかしそれは別に組織的な拡大伸長という意味ではなく、着実に市民活動団体へのメタモルフォーゼを遂げたという意味においてです。

この間に京都府や京都市からの委託事業補助金を受けられたのは、その証左ともいえる実績でした。また近在の民間活動団体との協働も進み、多くの出会いと相互支援によって Sotto 自体が一回りも二回りも内実的に大きくなることができました。ありがたいことです。

とはいえ、Sotto の基本事業の柱である4つの活動をみてもなお各種の課題が存在することは言わずもがなです。死にたいほどの辛さ孤立感にさいなまされる多くの人たちの呻吟にどれほど応えられているかを想う時、忸怩たる思いに至ります。しかしそれらを抱えつつも、さらなる歩みを展望するところまで Sotto は来ました。今後の10年計画としてその夢を描いています。この10年計画に関してはその具体的内容を他所に譲るとして、次のような点で貴重かつ重要な取り組みとなりそうです。すなわち、どの組織活動についても妥当するものですが、とりわけゆるやかな人間的つながりを特徴とする Sotto ではそのゆるやかさ故にも組織的エネルギーを継続的に保持、活性化するためには、日常的な活動に何らかの焦点化を施すことが肝要でしょう。今回の10年計画の夢は、その意味で動き出せば大きな活性剤となる事でしょう。あくまでもまだ“夢”ですが、堅忍持久あるのみ。

10年後「わが生すでにさだたり」となっているかも知れぬものの、なおいのちあらば各地に立ち上がった Sotto のきょうだいグループなども見参したいものと夢見ています。今回心おきなく「想いをつなぐ」佳き仲間たちにバトンタッチできること実に幸甚であり、本当に深謝に堪えません。皆さんの健康と多幸を祈念しつつ、ありがとう、そしてさようなら。

Sotto 役員紹介・組織図

【理事】

丘山 新（浄土真宗本願寺派総合研究所所長 東京支所長）

生越照幸（大阪弁護士会所属 弁護士法人ライフパートナー法律事務所在籍）

金子宗孝（特定非営利法人京都自死・自殺相談センター 相談委員長）

竹本了悟（特定非営利法人京都自死・自殺相談センター 代表）

野呂 靖（龍谷大学准教授）

廣谷ゆみ子（特定非営利法人京都自死・自殺相談センター 研修委員長）

吉田典生（特定非営利法人京都自死・自殺相談センター 事務局長）

【新任理事】

宇野全智（曹洞宗総合研究センター専任研究員）

武田慶之（ひろしま Sotto 代表）

中西 正導（特定非営利法人京都自死・自殺相談センター 広報委員長）

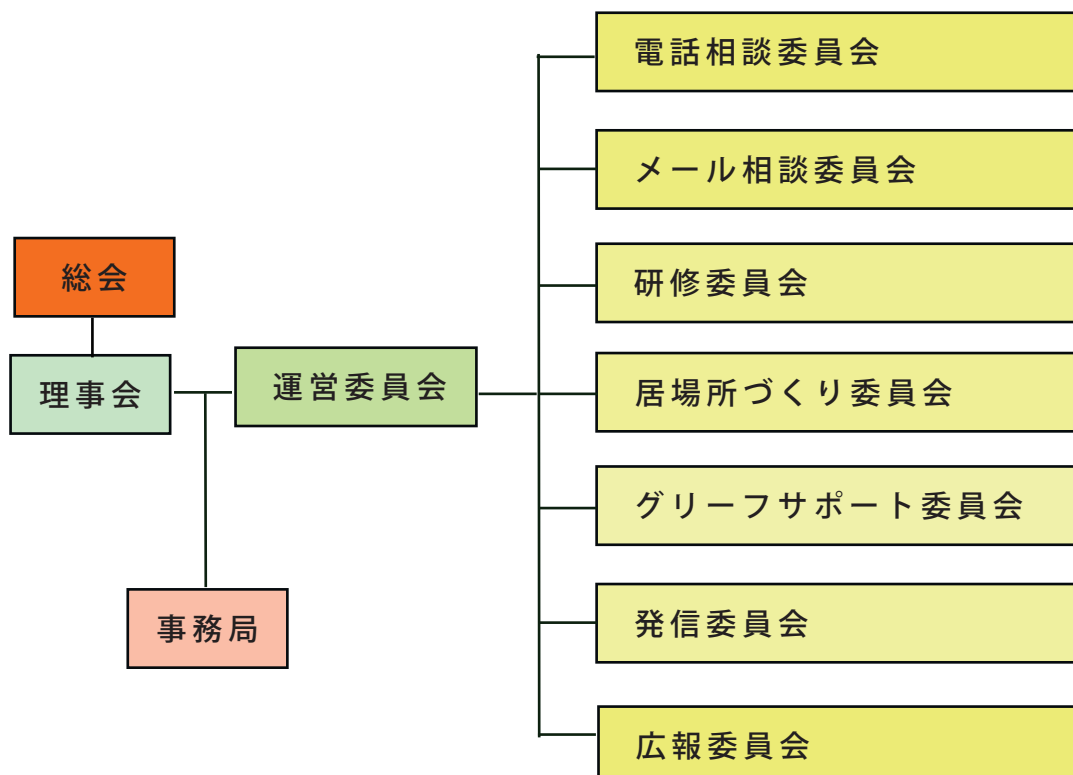
野村 清治（リメンバー名古屋 共同代表）

東 信史（まちとしごと総合研究所）

松本 俊彦（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 部長）

【新任監事】

高橋一仁（浄土真宗本願寺派総合研究所研究員）



2017 年度 定例理事会・総会

5月30日（火）に定例理事会・総会を開催しました。内容としては昨年度の決算、活動報告、本年度の予算、今後の組織および運営についてなどを議題に、今後の活動について検討し、滞りなく議事を終えました。

特に今年度は理事の改選時期という事もあり、Sottoの【今】と【これから】と題した中長期計画案の発表がなされ、新たに理事に就任される方々と共に、より具体的な今後のビジョン（3年後、5年後、10年後のSotto）を共有する時間を設ける事が出来ました。

さらに理事会・総会では改めて、Sottoが大切にしている3つのことを確認しました。

- ① Sottoの理念（自死・自殺にまつわる苦悩を抱えた方の心の居場所づくり）
- ② Sottoが創っていきたい社会（1, 多様性のある社会 2, 誰しものがひとりぼっちにならない社会 3. 死にたい想いをあたり前に語りあえる社会）
- ③ Sottoが目指すこと（1, 自死は「ある」もので、「良い」「悪い」という価値観は問題にしない 2, 死にたいほどの苦悩を抱えたときに安心して居られる場所をつくる 3, 「死にたい」は誰しものが抱き得る気持ちであることを共有する）

また、Sottoに所属するメンバーそれぞれが何を担っているのか、また今後は何を担うべきかを考える貴重な時間になったと感じています。

今回の総会では、開設当初からお世話になって来た清水理事長が退任され、また新たに数名の方に理事に加わって頂きました。この場を借りて組織体制も報告させていただきます。

（事務局 長嶋蓮慧）

今月のことば

どこかに美しい街はないか
食べられる実をつけた街路樹が
どこまでも続き すみれいろした夕暮は
若者のやさしいさざめきで満ち満ちる

(茨木のり子「6月」)

活動報告

- 5月期電話相談件数…129件（無言22件、よりそいホットライン担当36件を含む）
- 電話相談委員会 … グループ研修5月18日5名
- メール相談委員会5月24日4名
- 居場所づくり委員会 … Sotto おでんの会 “研究の場” 5月10日10名（参加者13名）
- グリーフサポート委員会 … 5月11日6名
- 研修委員会 … 委員会会議5月8日6名
- 広報・発信委員会 … 委員会会議5月1日6名

寄付ご協力一覧（敬称略・順不同） 2017年5月1日～31日 受付分

ご協力にこころより感謝いたします

浄土真宗本願寺派	霍野廣由	三上淳教	廣幡彩
株式会社エクザム	長嶋蓮慧	豊島由香	安部智海
葛野洋明	永江武雄	松本裕子	宇野全智
荻野昭裕	武田慶之	島田芳江	匿名希望2名
三重県・三重郡光輪寺	上月泰龍	松本俊彦	
尼崎市・円裕寺	安田智誠	山本清子	
京都市・一念寺	坂根泰子	野村栄	

Sotto コメント

山になっていたグミの実を食べました。ねっとりとした甘酸っぱい味がしました。子どものころはもっと美味しく感じたのなあ…（N.Y.）

発行 2017年6月

特定非営利活動法人 京都自死・自殺相談センター事務局
〒600-8349 京都市下京区西中筋通花屋町下ル堺町92

TEL 075-365-1600

URL <http://www.kyoto-jsc.jp>

E-mail so-dan@kyoto-jsc.jp